

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 秋田県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・脳脊髄センター	2
-	リハビリテーション・精神医療センター	3
秋田市	秋田総合病院	4
横手市	横手病院	5
横手市	大森病院	6
大館市	総合病院	7
大館市	扇田病院	8
男鹿市	男鹿みなと市民病院	9
大仙市	大曲病院	10
北秋田市	北秋田市民病院	11
北秋田市	阿仁病院	12
北秋田市	米内沢総合病院	13
仙北市	田沢湖病院	14
仙北市	角館総合病院	15
羽後町	羽後病院	16

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名			
病院名	循環器・脳脊髄センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	959,502	
決算規模(千円)	639,205,052	
標準財政規模(千円)	326,727,631	
財政力指数	0.30940	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.3
	将来負担比率(%)	244.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	951			
1 経常収益	951			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	951			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	951			
2 経常費用	951			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	951			
(うち支払利息)	951	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名			
病院名		リハビリテーション・精神医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	959,502	
決算規模(千円)	639,205,052	
標準財政規模(千円)	326,727,631	
財政力指数	0.30940	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.3
	将来負担比率(%)	244.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	76,000			
1 経常収益	76,000			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	76,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	76,000			
2 経常費用	76,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	76,000			
(うち支払利息)	76,000	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	秋田市		
病院名	秋田総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	307,672	
決算規模(千円)	149,822,795	
標準財政規模(千円)	73,071,998	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	94.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,058			
1 経常収益	9,058			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,058			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,058			
2 経常費用	9,058			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,058			
(うち支払利息)	9,058	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	横手市				
病院名	横手病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,112 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	225	60.4	65.5	64.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	163.5	26.7	-
計	229	62.2	64.9	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.1	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	85,555	
決算規模(千円)	55,976,753	
標準財政規模(千円)	30,299,598	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	13.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,333,713			
1 経常収益	5,333,713			
(1) 医業収益	4,755,514			
(うち修正医業収益)	4,643,040			
入院収益	2,955,635			
外来収益	1,440,706			
診療収入計	4,396,341			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	359,173			
(うち他会計負担金)	112,474			
(2) 医業外収益	578,199			
(うち国・都道府県補助金)	347,935			
(うち他会計補助・負担金)	194,144			
(うち長期前受金戻入)	13,827			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,524,061			
2 経常費用	5,523,960			
(1) 医業費用	5,492,843			
職員給与費	2,948,035	62.0	59.4	63.7
材料費	1,114,098	23.4	26.1	21.0
(うち薬品費)	518,950	10.9	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	592,930	12.5	11.8	10.1
減価償却費	430,114	9.0	8.7	9.7
経費	989,765	20.8	22.1	28.9
(うち委託料)	349,262	7.3	11.7	13.6
研究研修費	8,977			
資産減耗費	1,854			
(2) 医業外費用	31,117			
(うち支払利息)	27,775	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	101			
損益				
経常収支比率	96.6		103.3	101.8
医業収支比率	86.6		85.5	80.8
修正医業収支比率	84.5		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	5.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	91.0		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,760,798
1 固定資産	6,641,373
(1) 有形固定資産	6,629,973
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	11,400
2 流動資産	5,119,425
(1) 現金及び預金	3,768,424
(2) 未収金及び未収収益	1,267,534
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	83,467
3 繰延資産	-
負債合計	6,325,557
1 固定負債	4,745,886
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,748,581
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,358,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	667,356
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,394
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	400,575
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	220,708
(1) 長期前受金	940,321
(2) 長期前受金収益化累計額()	719,613
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,435,241
1 資本金	6,146,601
2 剰余金	-711,360
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-711,360
負債・資本合計	11,760,798
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	359,294	306,618
資本勘定繰入	169,115	148,109
計	528,409	454,727

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	横手市				
病院名	大森病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,564 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	90.1	91.1	87.9
療養	50	82.9	74.0	76.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	87.7	85.4	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		31.0	33.2	32.3

設立団体の状況		
人口(人)	85,555	
決算規模(千円)	55,976,753	
標準財政規模(千円)	30,299,598	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	13.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,513,289			
1 経常収益	2,513,289			
(1) 医業収益	2,256,489			
(うち修正医業収益)	2,206,600			
入院収益	1,571,123			
外来収益	487,794			
診療収入計	2,058,917			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	197,572			
(うち他会計負担金)	49,889			
(2) 医業外収益	256,800			
(うち国・都道府県補助金)	67,505			
(うち他会計補助・負担金)	142,548			
(うち長期前受金戻入)	13,921			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,640,543			
2 経常費用	2,640,542			
(1) 医業費用	2,613,095			
職員給与費	1,452,380	64.4	59.4	67.0
材料費	338,640	15.0	26.1	18.2
(うち薬品費)	153,630	6.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	179,101	7.9	11.8	9.4
減価償却費	187,621	8.3	8.7	10.2
経費	623,075	27.6	22.1	28.8
(うち委託料)	258,821	11.5	11.7	13.2
研究研修費	8,097			
資産減耗費	3,282			
(2) 医業外費用	27,447			
(うち支払利息)	27,197	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	1			
損益				
経常収支比率	95.2		103.3	104.5
医業収支比率	86.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	84.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.9		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,760,798
1 固定資産	6,641,373
(1) 有形固定資産	6,629,973
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	11,400
2 流動資産	5,119,425
(1) 現金及び預金	3,768,424
(2) 未収金及び未収収益	1,267,534
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	83,467
3 繰延資産	-
負債合計	6,325,557
1 固定負債	4,745,886
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,748,581
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	1,358,963
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	667,356
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	250,394
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	400,575
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	220,708
(1) 長期前受金	940,321
(2) 長期前受金収益化累計額()	719,613
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,435,241
1 資本金	6,146,601
2 剰余金	-711,360
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-711,360
負債・資本合計	11,760,798
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	228,288	192,437
資本勘定繰入	201,839	197,191
計	430,127	389,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	大館市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	43,439 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	375	63.9	65.1	63.0
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	60	40.2	36.7	41.9
感染症	2	-	-	-
計	443	59.5	60.1	59.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	11.8	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	69,237	
決算規模(千円)	42,547,884	
標準財政規模(千円)	21,837,166	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	78.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,140,007			
1 経常収益	11,140,007			
(1) 医業収益	9,223,951			
(うち修正医業収益)	9,088,357			
入院収益	4,981,140			
外来収益	3,867,020			
診療収入計	8,848,160			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	375,791			
(うち他会計負担金)	135,594			
(2) 医業外収益	1,916,056			
(うち国・都道府県補助金)	652,998			
(うち他会計補助・負担金)	1,080,313			
(うち長期前受金戻入)	113,589			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,448,897			
2 経常費用	11,445,024			
(1) 医業費用	10,856,971			
職員給与費	5,162,174	56.0	59.4	57.2
材料費	2,705,718	29.3	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,555,917	16.9	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,149,801	12.5	11.8	12.7
減価償却費	636,481	6.9	8.7	8.0
経費	2,306,809	25.0	22.1	19.0
(うち委託料)	1,145,575	12.4	11.7	10.0
研究研修費	34,195			
資産減耗費	11,594			
(2) 医業外費用	588,053			
(うち支払利息)	115,016	1.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	3,873			
経常損益	-305,017			
純損益	-308,890			
累積欠損金	2,724,570			
経常収支比率	97.3		103.3	103.2
医業収支比率	85.0		85.5	88.6
修正医業収支比率	83.7		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	10.9		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	86.7		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,765,590
1 固定資産	9,268,004
(1) 有形固定資産	9,234,931
(2) 無形固定資産	10,421
(3) 投資その他の資産	22,652
2 流動資産	2,497,586
(1) 現金及び預金	479,503
(2) 未収金及び未収収益	1,921,780
(3) 貸倒引当金()	584
(4) 貯蔵品	95,669
3 繰延資産	-
負債合計	10,805,930
1 固定負債	6,347,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,067,354
(2) その他の企業債	257,656
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,496,633
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	734,814
(2) その他の企業債	20,913
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	381,084
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	1,650,000
(8) 未払金及び未払費用	663,697
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	961,987
(1) 長期前受金	2,238,201
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,276,214
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	959,660
1 資本金	3,669,991
2 剰余金	-2,710,331
(1) 資本剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-2,838,869
負債・資本合計	11,765,590
不良債務	264,233
実質資金不足額	264,233
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,215,907	1,215,907
資本勘定繰入	409,653	409,653
計	1,625,560	1,625,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	264,233	2.6
令和3年度	149,929	1.5
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.6
健全化法上の資金不足額(千円)	264,513
健全化法上の資金不足比率(%)	2.5
地財法上の資金不足額(千円)	522,169
地財法上の資金不足比率(%)	5.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	大館市				
病院名	扇田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,305 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	62	57.8	57.6	53.6
療養	42	78.9	75.3	75.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	104	66.3	64.8	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		23.5	4.0	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	69,237	
決算規模(千円)	42,547,884	
標準財政規模(千円)	21,837,166	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	78.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,305,166			
1 経常収益	1,305,146			
(1) 医業収益	1,066,039			
(うち修正医業収益)	1,051,026			
入院収益	696,569			
外来収益	286,343			
診療収入計	982,912			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	83,127			
(うち他会計負担金)	15,013			
(2) 医業外収益	239,107			
(うち国・都道府県補助金)	8,287			
(うち他会計補助・負担金)	199,437			
(うち長期前受金戻入)	25,978			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,392,953			
2 経常費用	1,392,951			
(1) 医業費用	1,352,073			
職員給与費	796,990	74.8	59.4	67.0
材料費	111,364	10.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	26,348	2.5	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,507	6.7	11.8	9.4
減価償却費	82,282	7.7	8.7	10.2
経費	359,998	33.8	22.1	28.8
(うち委託料)	185,857	17.4	11.7	13.2
研究研修費	910			
資産減耗費	529			
(2) 医業外費用	40,878			
(うち支払利息)	645	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	2			
損益	経常損益	-87,805		
	純損益	-87,787		
累積欠損金	114,299			
経常収支比率	93.7		103.3	104.5
医業収支比率	78.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	78.3		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,765,590
1 固定資産	9,268,004
(1) 有形固定資産	9,234,931
(2) 無形固定資産	10,421
(3) 投資その他の資産	22,652
2 流動資産	2,497,586
(1) 現金及び預金	479,503
(2) 未収金及び未収収益	1,921,780
(3) 貸倒引当金()	584
(4) 貯蔵品	95,669
3 繰延資産	-
負債合計	10,805,930
1 固定負債	6,347,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,067,354
(2) その他の企業債	257,656
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	3,496,633
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	734,814
(2) その他の企業債	20,913
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	381,084
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,650,000
(8) 未払金及び未払費用	663,697
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	961,987
(1) 長期前受金	2,238,201
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,276,214
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	959,660
1 資本金	3,669,991
2 剰余金	-2,710,331
(1) 資本剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-2,838,869
負債・資本合計	11,765,590
不良債務	264,233
実質資金不足額	264,233
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,450	214,450
資本勘定繰入	20,131	20,131
計	234,581	234,581

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	264,233	2.6
令和3年度	149,929	1.5
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.6
健全化法上の資金不足額(千円)	264,513
健全化法上の資金不足比率(%)	2.5
地財法上の資金不足額(千円)	522,169
地財法上の資金不足比率(%)	5.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	男鹿市				
病院名	男鹿みなと市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,936 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	145	69.1	71.4	78.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	145	69.1	71.4	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	21.2	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	25,154	
決算規模(千円)	17,631,335	
標準財政規模(千円)	10,343,907	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	29.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,637,566			
1 経常収益	2,637,566			
(1) 医業収益	2,141,450			
(うち修正医業収益)	2,064,240			
入院収益	1,301,288			
外来収益	717,923			
診療収入計	2,019,211			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	122,239			
(うち他会計負担金)	77,210			
(2) 医業外収益	496,116			
(うち国・都道府県補助金)	145,806			
(うち他会計補助・負担金)	250,299			
(うち長期前受金戻入)	89,670			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,503,347			
2 経常費用	2,503,347			
(1) 医業費用	2,355,176			
職員給与費	1,428,539	66.7	59.4	67.0
材料費	374,999	17.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	230,469	10.8	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	144,530	6.7	11.8	9.4
減価償却費	108,609	5.1	8.7	10.2
経費	422,325	19.7	22.1	28.8
(うち委託料)	216,741	10.1	11.7	13.2
研究研修費	2,429			
資産減耗費	18,275			
(2) 医業外費用	148,171			
(うち支払利息)	29,535	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	134,219			
純損益	134,219			
累積欠損金	1,403,919			
経常収支比率	105.4		103.3	104.5
医業収支比率	90.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	87.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	92.3		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,515,843
1 固定資産	1,883,721
(1) 有形固定資産	1,858,159
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	25,562
2 流動資産	632,122
(1) 現金及び預金	257,545
(2) 未収金及び未収収益	325,044
(3) 貸倒引当金()	455
(4) 貯蔵品	45,864
3 繰延資産	-
負債合計	3,677,078
1 固定負債	1,727,214
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,296,970
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	430,244
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	653,905
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	271,586
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,147
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	98,575
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,295,959
(1) 長期前受金	1,699,861
(2) 長期前受金収益化累計額()	403,902
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,161,235
1 資本金	28,491
2 剰余金	-1,189,726
(1) 資本剰余金	214,193
(2) 利益剰余金	-1,403,919
負債・資本合計	2,515,843
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,161,235
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,509	327,509
資本勘定繰入	171,580	171,580
計	499,089	499,089

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	大仙市				
病院名	大曲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,857 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	120	83.1	83.5	71.3
感染症	-	-	-	-
計	120	83.1	83.5	71.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	77,657	
決算規模(千円)	48,032,707	
標準財政規模(千円)	27,964,974	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	85.7

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	900,495				
1 経常収益	900,485				
(1) 医業収益	618,043				
(うち修正医業収益)	618,043				
入院収益	542,574				
外来収益	70,278				
診療収入計	612,852				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	5,191				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	282,442				
(うち国・都道府県補助金)	6,682				
(うち他会計補助・負担金)	244,835				
(うち長期前受金戻入)	28,030				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	10				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	876,391				
2 経常費用	875,142				
(1) 医業費用	859,810				
職員給与費	552,743	89.4	59.4	105.1	
材料費	37,842	6.1	26.1	9.8	
(うち薬品費)	26,796	4.3	14.0	6.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,046	1.8	11.8	1.6	
減価償却費	47,218	7.6	8.7	12.8	
経費	213,569	34.6	22.1	35.3	
(うち委託料)	106,295	17.2	11.7	17.0	
研究研修費	1,193				
資産減耗費	7,245				
(2) 医業外費用	15,332				
(うち支払利息)	15,216	2.5	1.0	2.4	
(3) 特別損失	1,249				
損益	25,343				
純損益	24,104				
累積欠損金	-				
経常収支比率	102.9		103.3	101.8	
医業収支比率	71.9		85.5	61.1	
修正医業収支比率	71.9		82.8	58.7	
他会計繰入金対経常収益比率	27.2		11.1	32.9	
他会計繰入金対医業収益比率	39.6		14.1	57.0	
他会計繰入金対総収益比率	27.2		11.0	32.7	
実質収益対経常費用比率	74.9		91.9	68.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,507,386
1 固定資産	1,155,576
(1) 有形固定資産	1,155,277
(2) 無形固定資産	299
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	351,810
(1) 現金及び預金	224,750
(2) 未収金及び未収収益	125,423
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,342
3 繰延資産	-
負債合計	1,142,405
1 固定負債	549,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	522,251
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	27,306
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	208,852
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,204
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,484
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,064
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	383,996
(1) 長期前受金	748,216
(2) 長期前受金収益化累計額()	364,220
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	364,981
1 資本金	190,914
2 剰余金	174,067
(1) 資本剰余金	16,906
(2) 利益剰余金	157,161
負債・資本合計	1,507,386
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	244,835	244,835
資本勘定繰入	85,415	84,165
計	330,250	329,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	北秋田市				
病院名	北秋田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,304 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	224	56.8	63.3	60.2
療養	48	80.4	92.2	86.2
結核	4	6.2	-	12.2
精神	40	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	320	51.9	58.1	55.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	17.3	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	30,198	
決算規模(千円)	23,716,868	
標準財政規模(千円)	13,767,087	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	42.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	798,621			
1 経常収益	798,621			
(1) 医業収益	59,500			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	59,500			
(うち他会計負担金)	59,500			
(2) 医業外収益	739,121			
(うち国・都道府県補助金)	19,220			
(うち他会計補助・負担金)	399,274			
(うち長期前受金戻入)	40,712			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,092,293			
2 経常費用	1,092,293			
(1) 医業費用	699,174			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	307,506	516.8	8.7	8.6
経費	391,668	658.3	22.1	21.3
(うち委託料)	154,785	260.1	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	393,119			
(うち支払利息)	70,821	119.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	73.1		103.3	104.8
医業収支比率	8.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	57.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	771.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	57.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	31.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,393,654
1 固定資産	4,393,651
(1) 有形固定資産	4,310,336
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	83,315
2 流動資産	3
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	3
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,232,378
1 固定負債	4,369,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,274,392
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	95,497
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	274,677
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	258,274
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	16,400
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	587,812
(1) 長期前受金	1,248,938
(2) 長期前受金収益化累計額()	661,126
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-838,724
1 資本金	3,476,140
2 剰余金	-4,314,864
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,314,864
負債・資本合計	4,393,654
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	838,724
資本不足額(繰延収益控除後)()	250,912
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,528	458,774
資本勘定繰入	95,667	254,602
計	321,195	713,376

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7251.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	北秋田市		
病院名	阿仁病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	30,198
決算規模(千円)	23,716,868
標準財政規模(千円)	13,767,087
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	94.5
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	-		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7251.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	北秋田市		
病院名	米内沢総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	30,198	
決算規模(千円)	23,716,868	
標準財政規模(千円)	13,767,087	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	42.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,297			
1 経常収益	1,297			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,297			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,297			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,297			
2 経常費用	1,297			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	-	-	8.7	11.5
経費	-	-	22.1	32.6
(うち委託料)	-	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,297			
(うち支払利息)	1,297	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	-		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	865	1,297
資本勘定繰入	6,168	9,252
計	7,033	10,549

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7251.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	仙北市				
病院名	田沢湖病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,006 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	69.5	76.3	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	69.5	76.3	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		146.5	142.2	111.8

設立団体の状況		
人口(人)	24,610	
決算規模(千円)	22,063,488	
標準財政規模(千円)	11,582,738	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	103.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	900,138			
1 経常収益	895,337			
(1) 医業収益	580,796			
(うち修正医業収益)	557,914			
入院収益	355,267			
外来収益	176,281			
診療収入計	531,548			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,248			
(うち他会計負担金)	22,882			
(2) 医業外収益	314,541			
(うち国・都道府県補助金)	1,800			
(うち他会計補助・負担金)	293,949			
(うち長期前受金戻入)	8,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,801			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	910,540			
2 経常費用	910,540			
(1) 医業費用	870,650			
職員給与費	482,130	83.0	59.4	76.5
材料費	73,136	12.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	28,513	4.9	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,517	5.9	11.8	6.4
減価償却費	62,754	10.8	8.7	11.5
経費	246,406	42.4	22.1	32.6
(うち委託料)	60,027	10.3	11.7	14.8
研究研修費	637			
資産減耗費	5,587			
(2) 医業外費用	39,890			
(うち支払利息)	13,081	2.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-15,203			
純損益	-10,402			
累積欠損金	1,496,654			
経常収支比率	98.3		103.3	101.5
医業収支比率	66.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	64.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	54.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	35.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	63.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,166,432
1 固定資産	8,458,843
(1) 有形固定資産	8,110,174
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	346,800
2 流動資産	707,589
(1) 現金及び預金	20,790
(2) 未収金及び未収収益	668,883
(3) 貸倒引当金()	5,502
(4) 貯蔵品	23,418
3 繰延資産	-
負債合計	11,349,166
1 固定負債	9,324,292
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,553,175
(2) その他の企業債	340,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,431,117
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,734,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	405,181
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	158,527
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	946,000
(8) 未払金及び未払費用	203,388
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,142
(1) 長期前受金	886,623
(2) 長期前受金収益化累計額()	596,481
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,182,734
1 資本金	4,158,509
2 剰余金	-6,341,243
(1) 資本金剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-6,625,841
負債・資本合計	9,166,432
不良債務	621,962
実質資金不足額	621,962
資本不足額()	2,182,734
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,892,592
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	313,393	316,831
資本勘定繰入	56,047	56,047
計	369,440	372,878

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	621,962	17.2
令和3年度	563,060	15.3
令和2年度	468,575	13.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	183.0
健全化法上の資金不足額(千円)	621,962
健全化法上の資金不足比率(%)	17.1
地財法上の資金不足額(千円)	961,962
地財法上の資金不足比率(%)	26.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたもの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	仙北市		
病院名	角館総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,034 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 災 輪
許可公営企業	許可	看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	170	71.3	73.9	70.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	28	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	59.4	61.0	58.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.1	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	24,610	
決算規模(千円)	22,063,488	
標準財政規模(千円)	11,582,738	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	103.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,723,855			
1 経常収益	3,716,989			
(1) 医業収益	3,039,737			
(うち修正医業収益)	2,910,271			
入院収益	1,763,260			
外来収益	1,046,730			
診療収入計	2,809,990			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	229,747			
(うち他会計負担金)	129,466			
(2) 医業外収益	677,252			
(うち国・都道府県補助金)	203,968			
(うち他会計補助・負担金)	456,601			
(うち長期前受金戻入)	2,897			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,866			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,041,729			
2 経常費用	4,041,729			
(1) 医業費用	3,895,423			
職員給与費	2,078,562	68.4	59.4	67.0
材料費	567,701	18.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	253,527	8.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	287,838	9.5	11.8	9.4
減価償却費	349,074	11.5	8.7	10.2
経費	853,077	28.1	22.1	28.8
(うち委託料)	280,530	9.2	11.7	13.2
研究研修費	42,507			
資産減耗費	4,502			
(2) 医業外費用	146,306			
(うち支払利息)	10,952	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-324,740			
純損益	-317,874			
累積欠損金	5,129,187			
経常収支比率	92.0		103.3	104.5
医業収支比率	78.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.7		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	77.5		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,166,432
1 固定資産	8,458,843
(1) 有形固定資産	8,110,174
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	346,800
2 流動資産	707,589
(1) 現金及び預金	20,790
(2) 未収金及び未収収益	668,883
(3) 貸倒引当金()	5,502
(4) 貯蔵品	23,418
3 繰延資産	-
負債合計	11,349,166
1 固定負債	9,324,292
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,553,175
(2) その他の企業債	340,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,431,117
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,734,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	405,181
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	158,527
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	946,000
(8) 未払金及び未払費用	203,388
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,142
(1) 長期前受金	886,623
(2) 長期前受金収益化累計額()	596,481
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,182,734
1 資本金	4,158,509
2 剰余金	-6,341,243
(1) 資本剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-6,625,841
負債・資本合計	9,166,432
不良債務	621,962
実質資金不足額	621,962
資本不足額()	2,182,734
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,892,592
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	574,505	586,067
資本勘定繰入	190,720	190,720
計	765,225	776,787

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	621,962	17.2
令和3年度	563,060	15.3
令和2年度	468,575	13.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	183.0
健全化法上の資金不足額(千円)	621,962
健全化法上の資金不足比率(%)	17.1
地財法上の資金不足額(千円)	961,962
地財法上の資金不足比率(%)	26.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	羽後町				
病院名	羽後病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,299 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	58	71.3	80.0	72.3
療養	55	71.4	73.1	69.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	113	71.3	76.7	70.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	17.0	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	13,825	
決算規模(千円)	8,633,688	
標準財政規模(千円)	5,515,141	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,141,635			
1 経常収益	2,141,635			
(1) 医業収益	1,779,352			
(うち修正医業収益)	1,748,852			
入院収益	1,220,808			
外来収益	440,233			
診療収入計	1,661,041			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	118,311			
(うち他会計負担金)	30,500			
(2) 医業外収益	362,283			
(うち国・都道府県補助金)	1,357			
(うち他会計補助・負担金)	309,500			
(うち長期前受金戻入)	45,182			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,086,653			
2 経常費用	2,086,653			
(1) 医業費用	1,993,464			
職員給与費	1,013,439	57.0	59.4	67.0
材料費	325,616	18.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	131,331	7.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	170,862	9.6	11.8	9.4
減価償却費	166,806	9.4	8.7	10.2
経費	481,323	27.1	22.1	28.8
(うち委託料)	256,637	14.4	11.7	13.2
研究研修費	5,209			
資産減耗費	1,071			
(2) 医業外費用	93,189			
(うち支払利息)	18,768	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	54,982			
純損益	54,982			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.6		103.3	104.5
医業収支比率	89.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	87.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.3		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,455,315
1 固定資産	2,096,661
(1) 有形固定資産	2,095,966
(2) 無形固定資産	695
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	358,654
(1) 現金及び預金	96,542
(2) 未収金及び未収収益	256,229
(3) 貸倒引当金()	6,955
(4) 貯蔵品	11,022
3 繰延資産	-
負債合計	1,196,104
1 固定負債	428,085
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	427,771
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	314
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	390,438
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,085
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,305
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	121,856
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	377,581
(1) 長期前受金	936,128
(2) 長期前受金収益化累計額()	558,547
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,259,211
1 資本金	1,088,671
2 剰余金	170,540
(1) 資本剰余金	25,065
(2) 利益剰余金	145,475
負債・資本合計	2,455,315
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	264,881	340,000
資本勘定繰入	141,104	20,000
計	405,985	360,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。